

第2回 クイズ作問甲子園

審査委員総評

実施時期：2022年6月～8月

運営：AQL/全日本クイズリーグ
第2回夏のセンバツAQL実行委員会

第2回クイズ作問甲子園・結果

優勝 栄光学園中学校・高等学校（初優勝）

準優勝 渋谷教育学園渋谷中学校・高等学校

第3位 開成中学校・高等学校

【新設校部門・入賞】 ＊愛好会・学校非公認団体の上位3校

兵庫県立長田高等学校（2次審査8位）

清教学園中学校・高等学校（2次審査10位）

開智中学・高等学校（1次審査Cグループ7位・2次審査進出次々点）

第2回 クイズ作問甲子園概要

- 夏のセンバツAQL「問題作成部門」として開催、中学・高校40校が参加。
- 「AQLで、初心者も含む中高生に出題する42問」を想定し、中高生自身がクイズ問題を作成し、選定・裏取りを実施して提出。
- 『第3回夏のセンバツAQL』は、ここで応募された中高生の問題をメインに開催中。

【審査基準】

「AQL公式ルールで早押しクイズ真剣勝負を競うのに、ふさわしい問題群」であるか？

「クイズ初心者を含む中高生に出題する」という前提の難易度になっているか？

「新しい切り口」を意識しているか？

+ 各審査委員が、事前発表した基準



第2回クイズ作問甲子園審査方式

参加校は提出時に、どの審査委員グループに一次審査してもらうか選択。（先着順）

一次審査

【Aグループ】

鶴崎修功
中林もも
能勢一幸
川嶋大斗
松原東也

14校

上位
6校

【Bグループ】

神野莉子
徳久倫康
森慎太郎
福岡侑季
林志邦

13校

上位
6校

【Cグループ】

近藤仁美
三木智隆
山上大喜
中山拓海
別所輝典

13校

上位
6校

二次審査

【二次審査委員】

近藤仁美 高橋太郎 鶴崎修功 徳久倫康 中林もも
能勢一幸 東問 三木智隆 森慎太郎 山上大喜



結果詳細

第2回クイズ作問甲子園参加校



1 姫路西	11 開成	21 聖光学院(神奈川)	31 高田(三重)
2 長田	12 ラ・サール	22 北野	32 横浜翠嵐
3 筑波大駒場	13 新宮(福岡)	23 川口市立高附中	33 清教学園
4 東大寺学園	14 札幌南	24 前橋	34 駒場東邦
5 西大和学園	15 常翔啓光学園	25 旭丘(愛知)	35 広大福山
6 灘	16 新潟	26 名古屋大附	36 開智(埼玉)
7 N高/S高	17 渋谷教育学園渋谷	27 早稲田	37 大阪星光学院
8 海城	18 浦和	28 膳所	38 松江高専
9 岐阜	19 栄光学園	29 横浜サイエンスフロンティア	39 東邦大東邦
10 横浜平沼	20 滝	30 洛南	40 ノートルダム清心

Aコース結果

順位	学校名	計	鶴崎	中林	能勢	川嶋	松原
1	栄光学園	19	4	4	4	4	3
2	北野	14	3	3	1	<u>5</u>	2
3	東大寺学園	14	<u>5</u>	2	<u>5</u>	1	1
4	新宮	14	3	<u>5</u>	3	3	0
5	N高・S高	10	1	2	2	2	3
6	旭丘	9	2	1	3	3	0
7	高田	7	2	0	1	0	4

Bコース結果

順位	学校名	計	神野	徳久	森	福岡	林
1	開成	20	1	4	<u>5</u>	<u>5</u>	<u>5</u>
2	長田	18	<u>5</u>	3	2	4	4
3	渋谷教育学園渋谷	18	3	<u>5</u>	4	3	3
4	海城	13	2	2	3	3	3
5	横浜サイエンスフロンティア	11	3	3	1	2	2
6	西大和学園	10	4	1	2	2	1
7	横浜翠嵐	7	0	1	3	1	2

Cコース結果

順位	学校名	計	近藤	三木	山上	中山	別所
1	岐阜	18	<u>5</u>	4	3	2	4
2	聖光学院	18	3	<u>5</u>	2	<u>5</u>	3
3	筑波大駒場	13	3	3	2	3	2
4	灘	13	1	2	1	4	<u>5</u>
5	清教学園	9	2	3	3	0	1
6	洛南	9	1	2	<u>5</u>	1	0
7	ラ・サール	8	0	1	1	3	3

順位	学校名	計	近藤	高橋	鶴崎	徳久	中林	能勢	東	三木	森	山上
1	栄光学園	32	<u>5</u>	4	3	3	3	1	2	4	3	4
2	渋谷教育学園渋谷	29	1	3	1	<u>5</u>	0	0	<u>5</u>	<u>5</u>	4	<u>5</u>
3	開成	22	1	1	3	3	0	2	1	3	<u>5</u>	3
4	岐阜	21	4	<u>5</u>	0	2	0	3	3	2	0	2
5	東大寺学園	20	1	0	4	0	1	<u>5</u>	4	0	2	3
6	聖光学院	15	0	3	1	2	2	0	1	3	2	1
7	灘	15	0	2	0	4	3	3	3	0	0	0
8	長田	14	2	1	<u>5</u>	0	1	4	0	0	1	0
9	筑波大駒場	9	2	0	0	1	<u>5</u>	0	0	1	0	0
10	清教学園	8	0	0	2	0	0	0	2	2	1	1

11位 海城 8P 12位 洛南 7P 13位 旭丘 5P 14位 北野 5P 15位 新宮 5P
16位 N高・S高 2P 17位 西大和学園 2P 18位 横浜サイエンスフロンティア 1P

1位

栄光学園（神奈川）

32点

【作成団体コメント】

「良い問題を1つでも多く揃える」ことを目標に据え、部員の手による数多の問題の中から42問を厳選して入念な推敲を行いました。問題群にメリハリを効かせるために、採用する問題や配置を工夫しました。

構文や書式については、回答者と問読みへの配慮を怠らず、ミスリードの無いよう気を配りました。読み仮名を含むために既定の文字数を超過した問題があります。

1位

近藤仁美

高橋太郎

鶴崎修功

徳久倫康

中林もも

能勢一幸

東問

三木智隆

森慎太郎

山上大喜

栄光学園（神奈川）

「こうきたか」「なるほど」と思わせる問題が多く、大変楽しく拝見しました。濃い内容と基本問題のバランスもちょうどよく、安定感の高い構成が頼もしかったです。

正解への筋道としての機能美を感じさせる前フリが印象的でした。この問題群で勝負してみたいです。

面白い問題の多さはピカイチだと思いました。もしその調子で作問し続けられたとしたら高校一どころか日本一までいけると思います。

題材選び、出題方式など、レベルが高く洗練されていると思います。

こちらが勉強になるほどの、よく練られた良問揃いでした。

オリジナリティーが感じられる前フリが多く、年度のカッコ書きの追記、『』と「」の使い分け、ふりがなを振るなど基本的な配慮がしっかりとされていました。どれも誰かしら正解が出るのではないかと期待が持てる問題群でした。

89点

前振り情報、問題文の出し方、後限定の処理方法など、すべて素晴らしかったです。ジャンルバランス、難易度バランスもよく、減点部分がほとんどありませんでした。高校生が作ったとは思えません。長くクイズを続けて、いい問題をたくさん作って欲しい。

単に勝負の道具とするだけでなく面白い情報で楽しんでもらいたいという考えが伝わってくるうえ、それがある程度のレベルで達成されていると感じられる問題群でした。一部の問題で、書いている内容が事実と異なるニュアンスを伝えてしまっていることがあったため、その点を改善できればさらによかったと思います。非常にレベルが高い。全体の難易度を抑えながらも、硬軟入り混じった問題群。ベタを出すときも、押せなかった初心者も納得感がある問題を選んでおり、配慮が行き届いている。

短文の器のようなものを理解し、無茶しすぎないが言いたいことと言うような問題が多く、上手いと思わされた。

ここまでのレベルになると、もう少し「知らない前フリ」で初心者にも上級者にも面白い問題を見てみたくなる。が、これはただの個人的希望なので、あまり気にしないで。

32点

5

4

3

3

3

1

2

4

3

4

2位

渋谷教育学園渋谷
(東京)

29点

【出題者コメント】目指したのは、誰もがクイズを楽しめる42問です。誰も嫌な気持ちをしなない配慮(ミスリードの可能性を排除、別解を充実させる等)を徹底した上で、初心者を突き放さない難易度で、上級者を飽きさせないクイズを心がけました。(アニメの0問は「5ちゃんねる」「平家物語」で補えていると判断しました。)

近藤仁美

意味が取りやすく、聞き取りやすい問題群でした。面白い前振りが多かったので、初心者からクイズ慣れた人まで幅広く楽しめると思います。ジャンルごとの問題数の多寡については、複数の分野にまたがる問題もあったのでさほど気になりませんでした。ただし、もし作問のプロを目指す方がいらっしゃる場合は、ジャンルごとの問題数を揃えるのも仕事のうちとなりますので、詳しくない分野にこそアンテナを張って取り組んでいけるといいなと思います。

1

高橋太郎

オーソドックスにまとまりつつも、答えに関する情報の切り抜き方に味のある問題がとても良いアクセントとなっていました。

3

鶴崎修功

面白い題材の問題を見ることができます。これで安定すればかなり面白いと思います。

1

徳久倫康

短い問題文の中に差のつく情報やおもしろい発見が盛り込まれており、宣言どおり、AQLで出題するにふさわしい問題群だと思います。

5

中林もも

全体的に後フリが丁寧で、スルーにならないような工夫を感じられました。

0

能勢一幸

オリジナルの前振りを入れようという意欲、そして難易度を抑えて押しやすくしようという配慮が感じられた問題群でした。

0

東問

102点

5

三木智隆

とにかく問題が面白かったです。クイズとして聞いた後に、「なるほど!」「そういうことか!」を連発してしまう問題群。その上で、ジャンルバランス、難易度バランス、ベタの配合も絶妙でした。abcの本番に並んでいるようなクイズとも捉えられました。この42問を高校生で作れるのはすごい! 1位評価です。

5

森慎太郎

解答者を楽しませようという気持ちを感じる問題が多かった印象です。ところどころ不安なところは見受けられるのですが、全体としてはうまくまとめられていたと思います。一部、AQLという場での出題が適切かどうか疑わしい問題があった点は少し気にかかりましたが、3番目の評価をつけた学校との評価を入れ替えるには至らないと判断しました。

4

山上大喜

非常に高い完成度の問題群。初心者にも優しい題材選び、ヒントの構成、分かりやすい表現、それでいて上級者同士の勝負にも使えるバランス。軽微なミスを除いてほぼ言うことがない。

5

正直、審査員の私より普通に上手い気がするが、一応1問1問にフィードバックをしたので、参考にするなり無視するなりしてほしい。素晴らしかった。

3位

開成 (東京)

22点

【出題者コメント】「AQLルールで勝敗を決めるのに相応しい」問題群を用意しました。偏りのないジャンル配分や様々な性質の問題の配置により、難易度を抑えつつも様々なクイズ力で差がつき、60字以内のコンパクトな問題文にすることによって参加者が集中してクイズに向き合えるような構成を目指しました。

近藤仁美

難易度を抑えつつもきちんと差がつくことを意識して作問されたとのこと、狙ったところにしっかり到達できていると思います。詳しい人なら前振りで押せ、詳しくなくても最後まで聞けば正解できそうという、ちょうどいい塩梅でした。

1

高橋太郎

瑕疵の見当たらない良い問題群でした。それだけに、個人的にはより味が感じられると嬉しいなと感じました。

1

鶴崎修功

相当安定して面白いです。フリも自然な感じをうけ、勝負の納得度が高いです。

3

徳久倫康

じつに現代的な短文クイズという内容で、問題文の洗練され方を含め、とても完成度の高い問題群だと思います。やや難しめというか、クイズの習熟度が問われるような範囲からの出題が多いですが、「ここまでは抑えておいてほしい」という意志を感じます。

3

中林もも

基本を押さえた問題揃いの中に時事性のある問題も加わって押しやすい問題群だと思いました

0

能勢一幸

オーソドックスな問題が続く中、後半に知識で差のつくものが配置され、速さ、知識の両面でチームの実力を引き出そうという意識も感じられました。別解・判定基準・解説欄も充実しており、フリガナも適切に記載され、非常に幅広いジャンルからの出題でした。

2

東問

85点

1

三木智隆

AQLルールに適した42問で、実力が結果に反映される問題群でした。文法ミスや事実誤認も見受けられず、裏取りや別解の記述もよくできています。高得点です。

3

森慎太郎

AQLという場や現在のクイズシーンに対してちょうどよい題材を、シンプルな形でうまく問題文に成形して並べられていると感じました。一部、間違っていないけれどももう少しこう書いた方が……と感じる問題もありましたが、そういうものは今後の人生の中で様々なものに触れて見聞を深めていくことでだんだんと解消されるのだと思うので、より高みを目指すのであればそのようなことを意識してみるとよいかもかもしれません。

5

山上大喜

短文の範囲で説明文としても分かりやすく、早押しクイズとしてもヒントの出し方がうまい問題が多く、非常にハイレベル。問題群全体を見ても、やりたい競技クイズがしっかり実現されていたと思う。

トップと差がついた点は、中高生向け・初心者も参加のAQLでは、全体的にもう少し簡単にしても良かったと感じたこと。アカデミックジャンルを中高で習うもの多めにしたり、馴染みある概念の問題をもう少し増やしたり、など。ただ、これはもう個人的な好み（AQLの解釈）のレベルでしかないの、直す必要は全くない。

3

順位	学校名	計	出題者コメント
4	岐阜	21	クイズ初心者でも勝負ができるよう、一般に広く知られた事象を「競技クイズであまり触れられていないフリや側面」から作ることを心がけました。
5	東大寺学園	20	「初心者への配慮」「ミスリードの回避」を大前提として、部員一同が「AQLルールにふさわしい問題とは何か」を考え42問を揃えました。オリジナリティーと競技性の両立に苦労しましたが、「誰もが聞いて、押して楽しい」問題群に仕上げることができたと思います。
6	聖光学院	15	こんばんは。聖光学院クイズ研究会です。今回の問題群のコンセプトは、「様々な人に活躍の場のある問題」です。具体的に言うと、クイズの頻出問題を詰め込んだ人が対応できる問題、世の中に精通した人も対応できる問題を混ぜ合わせました。(なお、「クイズの頻出問題」や「世の中に精通した人」といった概念は極めて主観性を孕むことをご了承ください。)「世の中に精通した人が対応できる問題」はいわゆる、短文基本を意識して作問しました。短文基本は、「幅広い題材」「多角的な出題方法」「問題の軽さ」、すべてを兼ね備えるのは至難の業でしたが、この3つを基本理念として作問しました。幅広い層の方々に響く問題が一間でも多くあると嬉しいです。最後の最後まで苦労して作り上げたことで、部員一同の短文基本への理解が深まる良いきっかけとなったと思います。作問甲子園の開催、本当にありがとうございました。
7	灘	15	クイズの強弱にかかわらず押せるよう、身の回りの物事からの出題を増やしました。部員全員で吟味した問題群をお楽しみください。
8	長田	14	新興クイ研らしく、「クイズを始めたばかりの人にも楽しんでもらえる」ことを考え、1年生にも多く携わってもらうなど多角的な視点での作問を意識しました。一方で実力のあるチームが順当に勝てる問題群であるために、上級生が時間をかけて推敲や取捨選択を行いました。歴が浅いため拙い問題群ではありますが、プレイヤーの皆さんに楽しんでいただけたら幸いです。
9	筑波大駒場	9	この問題群を作るにあたって最も意識したことは「学びがあること」です。まず、いたずらに難しい問題ではなく、「よく聞くものに関する意外なこと」を前振りに配置するようにしました。これにより、本質を理解できている人が正解できるような問題になったと思います。また、時事問題も多く配置しました。これは、ニュースを見るなど、周囲に関心を持っている人が正解できると思います。このように、単語を知って終わりではなく、幅広いことについて本質的に学ぶことを重視しました。
10	清教学園	8	いわゆる「ベタ」と呼ばれる問題は極力減らし、「クイズ界で有名なことだけではなく、経験の少ない方にも馴染みやすい問題」を揃えました。少々出題傾向の偏りが見られますが、経験の浅い部員もいる中、大勢の部員で精一杯作成した問題群です。

残る審査委員のコメントは、希望する各校に送付済みです。

順位 学校名 計 高評価した審査委員のコメント

4	岐阜	21	100%の確度とはならないが、答えを十分に想起できる前フリの問題が多いのが素敵でした。実際の試合中でも要所要所で勝負にいく押しが見られそうなのが楽しみです。（高橋・5点）
5	東大寺学園	20	作成団体コメントに「初心者への配慮」と掲げただけあって、易しい問題ばかりが並んでおり、それでいて小気味よい適切な長さの耳なじみのない前振り問題がいくつも続くのが非常に高いポイントです。「今年」「昨年」「先月」の後にカッコで時期をしっかりと明記していることや適切な場所でのよみがなの配慮も好印象でした。（能勢・5点）
6	聖光学院	15	コメント欄で注力したと書かれている内容が42問に表現できています。長すぎない前振りには必要情報が過不足なく含まれていました。基本問題中心セットで、早押しで消化したときのテンポもいいと想像します。（三木・3点）
7	灘	15	とてもよくまとまった問題文で、違和感なく向き合うことができると思います。随所に細かい配慮が見て取れました。（徳久・4点）
8	長田	14	かなりおもしろいです。答えにいたるまでに納得するフリがついている問題が非常に多いです。（鶴崎・5点）
9	筑波大駒場	9	特に○問目、○問目のように、多くの学校が今回取り上げた時事問題の出来が素晴らしく、事象の切り取り方が見事でした。（中林・5点）
10	清教学園	8	問題を作って出すということうちの、基本的なことはこなせているように感じました。そこからさらにプラスアルファとして、AQLという場について考えつつどのような問題がよりよいかについて考えを深められるとワンランク上が目指せるのではないかと感じました。（森・1点）

残る審査委員のコメントは、希望する各校に送付済みです。